

個別最適な学びと協働的な学びの 実現に向けた授業づくり

2023.9.1
胆振教育研究所



発表の流れ

- (1) 個別最適な学びと協働的な学びの授業改善について
- (2) 個別最適な学びと協働的な学びの具体的な実践について
- (3) 各教科における個別最適な学びと協働的な学びのポイントについて
- (4) 成果と課題について



(1) 個別最適な学びと協働的な学びの授業改善について

○個別最適な学び

「指導の個別化」と「学習の個性化」に整理し、児童生徒が自己調整しながら学習を進めていくことができるようにする。

○協働的な学び

探究的な学習や体験的な学習を通じ、多様な他者と協働しながら持続可能な社会の創り手となることができる資質・能力を育成する。



(1) 個別最適な学びと協働的な学びの授業改善について

ICTの活用



児童生徒の興味・関心に
応じた学習課題



多様な意見の共有
や合意形成を図る
活動



遠隔地や専門家と
つないだ授業



児童生徒それぞれにあ
った学習の進め方



他の学校・地域や
海外との交流



(1)個別最適な学びと協働的な学びの授業改善について

個別最適な学びの授業改善

指導の個別化



- ICT活用により得られるデータを活用し、きめ細かく学習の状況を把握・分析
- 個々の児童生徒に合った多様な方法で学習
- 学習履歴、生活・健康面の記録等、様々なデータを可視化し、学習方法等を提案するツールの活用



確実な資質・能力の育成

※ 児童生徒が自らの状態を把握し、自らに合った学習の進め方を考えることができるよう、教師による指導を工夫していくことが重要

授業の場面で考えると…

- 課題に対してどのような方法で学習を進めるかを考える。
- ICT機器を活用して自分に合った方法で課題解決を行う。
- ドリル教材で、自分のペースや課題に合った問題を解く。



5

(1)個別最適な学びと協働的な学びの授業改善について

個別最適な学びの授業改善

学習の個性化



- 情報の探索
- データの処理や視覚化
- レポートの作成
- 情報発信



学びの質の高まり、深い学びの実現

※ 児童生徒がこれまでの経験を振り返ったり、これからのキャリアを見通したりしながら、自ら適切に学習課題を設定し、取り組んでいけるよう、教師による指導を工夫していくことが重要

授業の場面で考えると…

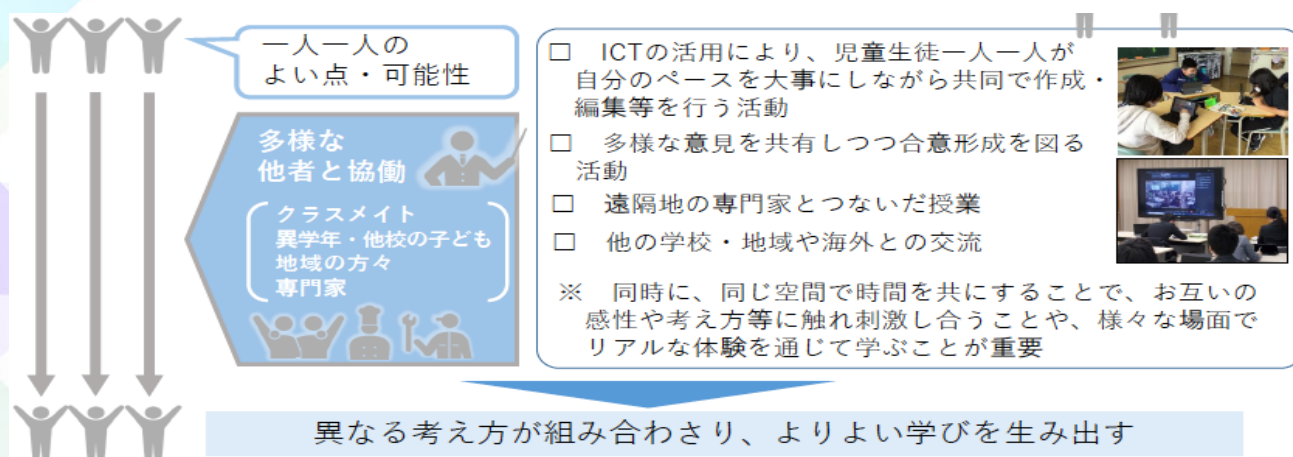
- 自分の興味、関心や経験などから児童生徒自ら学習課題を設定する。
- ICT機器を活用して児童生徒自らが調べる。
- 調べたことを、プレゼンテーションソフト等を活用して児童生徒自らがまとめる。



6

(1) 個別最適な学びと協働的な学びの授業改善について

協働的な学びの授業改善



授業の場面で考えると…

- ・自分の考えをペアやグループで説明する。
- ・他者の意見から、新しい考えを見つける。



発表の流れ

- (1) 個別最適な学びと協働的な学びの授業改善について
- (2) 個別最適な学びと協働的な学びの具体的な実践について
- (3) 各教科における個別最適な学びと協働的な学びのポイントについて
- (4) 成果と課題について



(2)個別最適な学びと協働的な学びの具体的な実践について

胆振管内の実践を、4つのパターンに分けて紹介

- ①主に個別最適な学びが行われているパターン
- ②主に個別最適な学びと協働的な学びが交互に行われているパターン
- ③主に個別最適な学びと協働的な学びが同時に行われているパターン
- ④単元計画の中での個別最適な学びと協働的な学びのパターン



①主に個別最適な学びが行われているパターン

～伊達市立光陵中学校 柴田先生の実践・中学1年英語科～

個別最適な学び（指導の個別化）の手立て

レベル別に複数のシートをPDFで用意しChromebook内で生徒が選択し、読めるようにした。

◆以下の段階別のシートを提示し、自己決定をさせ、できたら次の段階へ進める状況をつくり、生徒の意欲を引き出したい。

【個別最適な学び（指導の個別化）】→【主体的な学び】

- ・Level.1のシートは単語に読みと意味がついている。
- ・Level.2のシートは新出単語を中心に単語の読みがついている。
- ・Level.3のシートは何もついていない本文のままの状態。
- ・Level.4のシートは新出単語を中心に日本語がある状態。
- ・Level.5のシートは新出単語を中心に空欄になっている状態。



①主に個別最適な学びが行われているパターン

～伊達市立光陵中学校 柴田先生の実践・中学1年英語科～

Level1

①M: It's summer / in Australia / now.

夏です / オーストラリアは / 今

②K: What / do you do / in summer / , Emily?

何を / あなたは しますか / 夏に / エミリー

Level3

①M: It's summer in Australia now.

②K: What do you do in summer , Emily?

Level5

①M: It's in Australia now.

②K: What do you do in summer , Emily?



- ・学習に苦手意識のある生徒も、意欲的に読む姿が見られた。
 - ・授業の最後に、本文の内容をどれくらい理解したか、評価するためのミニテストを実施し、全員がしっかり取り組み、正解していた。
- 生徒全員が本時の目標に到達することができた。



②主に個別最適な学びと協働的な学びが交互に行われているパターン

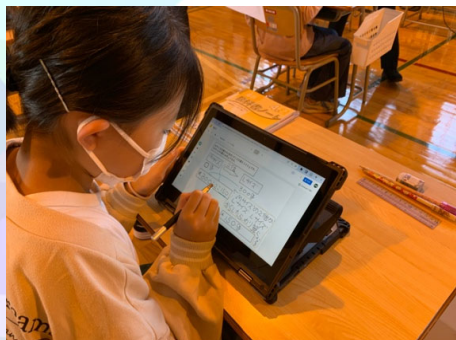
～洞爺湖町立とうや小学校 福山先生の実践・小学4年算数科～

自力解決	★問題場面を関係図に表して、Mサイズの重さを求める。	◆ Jamboard に関係図や式・答えを書き込ませる。 個別に考える場面	
集団解決	★考えたことを、友達と交流する。 ★考えたことを全体で共有する。	◆ Jamboard を使って、友達と自分の考えを交流させる。 ◆ Jamboard の自分のページをテレビにキャストさせる。 ◆児童は、自分のタブレットで発表する友達のページを開く。 協働して学べる場面	【思・判・表】 数量の関係を図に表して考えたり説明したりしている。
まとめ	・関係図と式、答えを算数ノートにまとめる。 ③ 割合を図に表すと、わからない量も求めることができる。 ★学んだことを活かして $\triangle 3$ の②に取り組む。 ・本時の学習を振り返る。	◆デジタル教科書で確認したうえで、出てきた関係図や式・答えを板書する。 ・答え合わせは、教師で行う。全体で関係図とテープ図を共有したうえで、式と答えの確認をする。 学んだことを振り返る場面	【思・判・表】 数量の関係を図に表して考えたり説明したりしている。 (ノート・発言)



②主に個別最適な学びと協働的な学びが交互に行われているパターン

～洞爺湖町立とうや小学校 福山先生の実践・小学4年算数科～



○個別に考える場面

- ・考えの見通しを立てた後、Jamboardを活用し、自分の考えを書き込んでいる。
 - ・途中で思考が止まった児童のために、ヒント用のシートを準備し、他の友達の考えを見て参考にするなどの声かけを行っている。
- 自分のペースに合わせて学習に取り組めた。



○協働して考える場面

- ・タブレットでお互いの考えを共有し、相違点や考えの根拠などを説明している。
 - ・自分と考えが違う際は、相手の考えもJamboardに書き込んでいる。
- 相手の考えを聞くことで、考えをより深め、広めている。



③主に個別最適な学びと協働的な学びが同時に行われているパターン

～豊浦町立豊浦中学校 木下先生の実践・中学1年国語科～



○「個別最適な学び」と「協働的な学び」が同時に起こる①

写真右上の生徒が、自分の考えを述べる場面
→教師の意図としては、意見交流を通して生徒たちが様々な角度からの考えを知り、自分の考えを広げるなど、より確かなものにしていく場面あった（協働的な学び）。

写真手前の生徒は、個人思考の場面であり自分の考えが書けていない生徒だったが、発表が始まったらすぐにそこから使える言葉を選んで、自分の考えとして一生懸命にまとめていた。
→この生徒にとっては個別最適な学び



③主に個別最適な学びと協働的な学びが同時に行われているパターン

～豊浦町立豊浦中学校 木下先生の実践・小学1年国語科～



○「個別最適な学び」と「協働的な学び」が同時に起こる②

- ・写真手前の生徒は振り返りを書く際、自信がないので、中央の生徒にいろいろと確認をしていた。
- ・写真右上の生徒も、その確認作業に参加しながらも、自分の考えを述べていた。

→明確にどの生徒にとって、「個別最適な学び」または「協働的な学び」になっているのかは判断できないが、教師の意図しない場面でこのような学びが起こっている。



④単元計画の中での個別最適な学びと協働的な学びのパターン

～伊達市立伊達小学校 丸山先生の実践・小学5年理科～

単元全体を見通して、「（主として）個別最適な学び」の時間と「（主として）協働的な学び」の時間を交互に設定し、一体的な充実を図っている。

○（主として）個別最適な学びの時間（11/14時）

前時の学習を踏まえ、水に溶けた物の取り出し方について予想し、その予想を確かめるための方法を個人で考え、タブレットPCにまとめた。

思考段階においては、既習内容を活用したり、授業支援クラウドを活用して他者の考えを見たり、教師に聞いたりするなど、個々の児童に応じた方法で学習できるよう工夫している。（指導の個別化）

○（主として）協働的な学びの時間（12・13/14時）

前時の学習で考えた実験をグループごとに実施した。協働による学びの質を高めるために、次のような指導や配慮が見られた。

- ・グループ内で適切な実験方法について意見交換させる。
- ・作業分担を明確にさせることで、効率的に実験を行う。
- ・グループごとに異なる実験を行い、比較・検討させることで思考を高める。



発表の流れ

- (1) 個別最適な学びと協働的な学びの授業改善について
- (2) 個別最適な学びと協働的な学びの具体的な実践について
- (3) 各教科における個別最適な学びと協働的な学びのポイントについて**
- (4) 成果と課題について



(3) 各教科における個別最適な学びと協働的な学びのポイントについて

-----【理 科】----- 教科のポイント -----

Point!

- 問題解決の活動を通した資質・能力の育成
- 児童生徒が理科の見方・考え方を働かせる ICT の活用

例

小学校5年 「流れる水のはたらき」

学年や単元の設定

ICTの活用場面を含めた、具体的な事例

個別最適な学び（個に応じた指導）		協働的な学び
指導の個別化	学習の個性化	
・タブレット等で実験の様子を撮影 ・情報を整理し、考察する	・課題に対する実験の計画を立てて進める ・タブレット等で実験の様子を撮影	・実験の結果を全体で考察してまとめる

理科では、児童生徒が理科の見方・考え方を働かせるために、どのような視点で自然の事物・現象を捉え、どのように考えるかを明確にして関与することが大切です。

「観察、実験の代替」として ICT 機器を活用するのではなく、問題解決の充実を図り、どの場面で ICT 機器を活用するのかを明確にするとことで、より効果的に必要な資質・能力を身に付けさせます。



(3)各教科における個別最適な学びと協働的な学びのポイントについて

詳しくは…

-----【 生 活 科 】-----

Point!

○学習対象への興味・関心の喚起や、記録した情報をもとにした伝え合いの充実
○活動後に自らの取組を客観的に振り返り、活動のよさに気付く

例 小学校2年 「わくわく2年生」

個別最適な学び（個に応じた指導）		協働的な学び
指導の個別化 ・地域の自然やインタビューをタブレットで撮影する ・気付いたことや感じたことを記録する	学習の個性化 ・自身が調べたいことや伝え方を考える	・動画や静止画などを見せながら、気付いたことを伝え合う

生活科では、具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力の育成が大切です。
低学年の発達の段階や特性を十分配慮して ICT 機器を活用し、多様な情報を記録し、その後の振り返りで客観的に考えることで、次の学習につなげることができます。



胆振教育研究所HP
http://www.iburi-education.jp/data/r4_kyoikuriron.pdf



QRコード

全教科にて作成

胆振教育研究所
研究紀要 第238号



19

発表の流れ

- (1) 個別最適な学びと協働的な学びの授業改善について
- (2) 個別最適な学びと協働的な学びの具体的な実践について
- (3) 各教科における個別最適な学びと協働的な学びのポイントについて
- (4) 成果と課題について



20

(4)成果と課題について

○成果

- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のため、2つの側面から授業改善の方向性についてまとめることができた。
- ・ 本研究所の委託校・実践校を中心に、胆振管内の実践事例を紹介することにより、個別最適な学びと協働的な学びの具体的な姿を管内の小・中学校に情報発信することができた。



21

(4)成果と課題について

○課題

- ・ 個別最適な学びと協働的な学びを、1単位時間の授業の中でどのように位置付けるのかということについて研究が必要である。

○今後に向けて

- ・ ICTの効果的な活用も含めて、各教科においての単元計画の作成を行なっていく。

今年度末（3月）に、研究をまとめた紀要を発行、ホームページに掲載予定



22

ご清聴ありがとうございました。

胆振教育研究所

